

鎌倉の バリアフリー環境について

交通機関は鉄道の駅は JR 大船駅・北鎌倉駅・鎌倉駅はすべてバリアフリーになりました。

江ノ電も 2016 年 10 月末に七里ヶ浜駅に昇降機がつき、一応全駅がバリアフリーになりました。しかしまだ課題もあり、それは腰越駅と七里ヶ浜駅の昇降機が午前 9 時から午後 6 時に時間制限されていること。また長谷駅の藤沢駅方面のホームが事前に駅に申し出ないとスロープが使えないことです。

鉄道の駅のバリアフリー化ではモノレールの駅が少し残っています。

バスについてはノンステップバスが多くなり、車いすやベビーカーを使う方にも利用しやすくなりました。

またユニバーサルデザインタクシーをいくらか数を増やしていくことが必要だと思います。

それから道路についてですが、点字ブロックが中途半端な設置のされ方が多く見られます。これをきちんと整備して、目の不自由な方が安心して外出できるようにすることが必要です。

また道路のデコボコや傾斜・段差が多く見られ、それを解消していかなければなりません。

信号についても音の出る信号を増やさなければなりません。

鎌倉には宗教法人がたくさんあり、古い神社仏閣の多くは階段が多く車いすやベビーカーでは行きにくいので対応が望まれます。

そして多目的トイレの充実も促進していきたいです。



何でも相談して いただければ うれしいです

住所・氏名・電話番号を
言っただけで
連絡して下さい。



千一 (せんはじめ) の議会における HOW TO (Q & A)

Q. 言葉がしゃべれない千一は、どうやって質問するの？

A. あらかじめ質問の文章を提出しておき、代読していただきます。

Q. その文章はどうやって書くの？

A. 「音声キーボード」を、左足の親指で叩いて、書き取ってもらいます。疲れて目が見えなくなると、書き取り者の手に、ひらがなで、一文字ずつ、足で書くのです。

Q. 足で?! 時間がかかるでしょうね。

A. 膨大な時間と労力がかかります。足が疲れると、読み取りにくくなり、一文字を理解するのに、何分もかかることも……。

Q. だれが書き取るの？

A. 特定の人を定めていません。過去 16 年間を通じて「手伝ってみようかな」というボランティアの方々が、声をかけてくださいます。文章は、千一が作ります。

Q. 「影の指導者」とかがいるのですか？

A. いません。大学時代や長いつきあいの友達、恩師たちが応援協力してくれますが、この人たちの多くは、藤沢市民、横浜市民です。普段は、一人で活動します。

Q. 登庁も一人で？

A. はい。毎朝、2 時間半、介護のヘルパーさんに来てもらって、朝食や歯磨きの介助をしてもらうのですが、登庁の日は、スーツを着せてもらっています。

Q. お昼はどうするの？

A. 毎日、昼の 1 時間、ヘルパーさんに来てもらうのですが、登庁の日は、議員控室に来てもらい、昼食（コンビニのお弁当など）と、トイレの介助をしてもらいます。

Q. それ以外の時間のトイレは？

A. この 16 年間、議会の休憩時間など、トイレの件では、すごく大変な思いをしてきました。鎌倉市議会は、議員活動と生活介助とを機械的に分け、議会における議員の身体介助を議会事務局職員が行うことを禁止行為としているのです。他市（大阪府豊中市の車椅子議員）の実例などを考え、今後の課題として持ち越していこうと思います。



私も応援します!!

◇ 中田 光彦

社会福祉士、介護福祉士、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人

◇ 宇野 峰雪

弁護士、元横浜弁護士会副会長、神奈川大学OB、神奈川大学 理事、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人

◇ 海老名健太郎

松下政経塾第 22 期生、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人

◇ 小木 和孝

医学博士、財団法人労働科学研究所・元 ILO 労働条件環境局長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人

◇ 小木 節子

鎌倉バリアフリー研究会 会員、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」代表委員の一人

◇ 山口 道孝

東ティモール医療友の会・副理事長、「千一と介護・福祉・バリアフリーを考える会」会員

◇ 水澤 伸夫

十文字学園女子大学 人間福祉学科 非常勤講師
東京都立看護専門学校 非常勤講師
裏千家 茶道教室 鎌倉佐助「知足庵」主

◇ 堀野 定雄

神奈川大学工学研究所 人間工学 客員研究員